

町長	副町長	課長	課長補佐	係長	係員
会議名	平成27年度第3回川南町地域公共交通会議議事録				
日時	平成28年3月3日(水曜日) 午後 1時30分～3時00分				
場所	川南町役場本館3階 第2会議室				
出席者	<p>会長：清藤 荘八</p> <p>委員：宮崎交通(株)西都営業所 赤崎弘、エムアール交通(株) 吉本悟朗  (社)宮崎県タクシー協会 後口昌賢、(社)宮崎県バス協会 中園雅夫  高鍋土木事務所 石倉義紀、九州運輸局宮崎運輸支局 板並克也(代)  川南町議会 川上昇、川南町自治公民館長会 松浦峻男  川南町商工会 宮崎吉敏、川南町婦人連絡協議会 乙津弘子  川南町長寿会連合会 井上源之助、川南町民生(児童)委員会 稲田勝重</p> <p>オブザーバー： 宮崎運輸支局 國村利広、谷口誠一</p> <p>事務局：建設課 黒木補佐、橋口係長、黒木主査(記)</p>				
欠席	<p>委員： 宮崎交通労働組合 矢野崇徳、宮崎県高鍋警察署 河野英樹</p> <p>オブザーバー：宮崎県総合交通課</p>				

#### 議事

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

#### (1) 平成27年度運用実績及び前年度比較等報告

清藤会長：事務局から説明をお願いします。

橋口係長：((1)平成27年度運用実績及び前年度比較等報告についての説明。)

清藤会長：ご意見ご質問がありましたらお願いします。

赤崎委員：P5の登録者数の表ですが、H28年度の登録者数の目標値は？今後、新規登録者数を増やす為の対策は考えているのか？

橋口係長：H27年度は、山本小学校の全児童と教諭が登録してくれたので、多くなっていますが、H28年度は、H26年度並みの50名を目標としています。新規登録者数を増やすための対策としましては、地域ふれあいでの説明と併せ、小学生を対象に説明会を開催していき、小学生の登録を増やしていきたいと思います。

赤崎委員：了解。

井上委員：高齢者が増加していく中、長寿会でも必要な公共交通だと思っていますので、是非残して欲しい。地域長寿会の総会等も開催予定なので、要望があれば説明をお願いしたい。

橋口係長：是非とも呼んでいただき、説明をさせてください。

清藤会長：他に何かございませんか。

ないようですので次に移らせていただきます。

## ( 2 ) トロントロンバス事業評価について

清藤会長：事務局から説明をお願いします。

橋口係長：( ( 2 ) トロントロンバス事業評価についての説明。 )

清藤会長：ご意見ご質問がありましたらお願いします。

ないようですので、次に移らせていただきます。

## ( 3 ) 定期路線の追加について

清藤会長：事務局から説明をお願いします。

橋口係長：( ( 3 ) 定期路線の追加についての説明。 )

清藤会長：この案件は委員会で承認を得た後に提出するということになりますので、ご意見ご質問がありましたらお願いします。

板並委員：29人乗りのバスということだが、既存のバスとは別に新たにということなのか。

橋口係長：現在のトロントロンバスではなく、新たにバスを走らせるということです。

後口委員：補足説明をしますと、以前、川南町でフロンティアバスとして走らせていた車両を使用する予定でいます。

宮崎委員：ドーム～駅間のバスということだが、需要等の調査はしたのか。

橋口係長：まち・ひと・しごと地方創生総合戦略に基づき、総務課にて駅利用者の中高生にアンケート調査を行っています。

回収率は、低かったですが回答者からの要望は多かったようです。

國村委員：H28.4～H28.9の6カ月間は実証運行ということだが、10月以降はどのように考えているのか。

橋口係長：実証運行中である6月ぐらいで方向性は見えてくると考えています。需要がなければ、10月以降の運行継続は無いかもしれません。

國村委員：10月以降に今の3路線と同じように国庫補助金を利用すると考えた時に気になったのは、現在の尾鈴・通浜線はこれまでの路線を維持するために確保しているので国庫補助対象となっているが、新たに考えている路線は、駅～トロントロンドームのわずかな距離であり、駅前混雑解消が目的となっているので、国庫補助としてバスを走らせるのであれば、もう少し工夫が必要なのではないかと思う。実証期間中には補助は出ませんので、その間にもう一度考えてみるのがいいと思います。川南町ではデマンドでも補助が出ていますので、そちらの方ともつなげることはできないか考えてみて下さい。

清藤会長：この件については、実証実験の間にもう一度考えさせていただきたいと思います。

それでは、定期路線の追加について承認をいただける方は、挙手をお願いします。

### 【全会一致により承認】

それでは、次に移らせていただきます。

## ( 4 ) 回数券について

清藤会長：事務局から説明をお願いします。

橋口係長：((4)回数券についての説明。)

清藤会長：ご意見ご質問がありましたらお願いします。

板並委員：三和交通の事務所やバス車内での販売ということなのか。

橋口係長：常連客からの拡大を考えているので、車内販売がメインになると思います。  
当然、事務所でも販売をしてもらいますが、役場での販売は考えていません。

後口委員：有効期限があった方がいいのでは？

谷口委員：回数券というのは、運賃を事前にいただくというものなので、有効期限を設けると苦情など出ることもある。料金改定があった場合には残りを精算するという形がいいのではないか。

乙津委員：回数券を利用するのは大半が高齢者だと思うので、期限を作ったりはしない方がいいのではないか。ずっと使えると思込み、苦情が出るかもしれない。

宮崎委員：回数券の発行は、有効期限等、法律的にはどうなのか。

後口委員：私どもが調べた結果では500円を超える金券については厳しいが、今回の件はそれほど神経質にならなくても良い金額のレベルだと思います。買い戻し等の最後の処理をしっかりと決めておけば良いと思います。

清藤会長：有効期限を作らず、料金改定があった場合のみ、残りの回数券があった場合は買い戻し、引き続き乗車される方にあたっては、新たな乗車券を購入してもらうという形をとるということでよろしいですか。

谷口委員：回数券のデザインについてなのですが、1回無料乗車券という表現はふさわしくないため、200円券を1枚多くして、サービス券の1枚には色を付けるようにする等していただきたい。あと、この回数券は、駅～トロントロンドームを結ぶ定期路線では使えるのか。

橋口係長：駅～トロントロンドームを結ぶ定期路線についての使用は考えていません。あくまでも、現在運行しています、一部定期路線・オンデマンド運行分のみです。

谷口委員：乗車券にはトロントロバスと書いてあり、利用者の方が実証運行車両でも使えると思ってしまう可能性もある為、その辺りの周知をしっかりとさせていただくようにお願いしたい。

清藤会長：乗車回数券について承認いただける方は挙手をお願いします。

#### 【全会一致により承認】

#### (4)その他

清藤会長：それではその他ということで、事務局からなにかありますか。

橋口係長：今後、年末運行日の変更、予約方法の変更について協議をさせていただきたいと思っておりますので、業界の皆様よろしくをお願いします。

清藤会長：委員の方々何かありましたらお願いします。

吉本委員：P4に利用者からの運賃の表があるが、実際町が負担している額など運行にあたっての収支がわからないのだが、どのような状況になっているのか。

橋口係長：詳しい数字を持ってきていませんので、概略でお話しますが、運行委託料が650万、運賃収入が95万円、H26.10からH27.9を事業年度とした国庫補助金を200万円いただいていますので、委託料から収入、補助金を差し引いたものが町の持ち出し額とな

ります。

吉本委員：今回気になったのは1月・2月と乗客も減っているということで、今後いつまで国からの補助があるかも分からないが、運行の方法も考えていかないといけないのではないか。町の負担金を考えると、このまま同じ方法でずっと運行するのではなく、タクシー会社の立場からも、タクシーはドアtoドアや前日予約もしなくていいのでそれをうまく活用した運行も考えていってもいいのではないかと思う。タクシー補助券を出している行政もあるので、参考にしつつ行政とタクシー会社が協力し合える方法はないのか検討していかねばならないのではないかと。

清藤会長：今後の地域公共交通の考え方について検討を重ねていきたいと思います。

他にありませんか。

ないようですので、以上で議事を終了します。

みなさまのご協力ありがとうございました。

橋口係長：以上を持ちまして、平成27年度、第3回川南町地域公共交通会議を閉会します。